

石川謙 いしかわ けん 教育學者、文學博士。明治二十四年四月（二十九日）愛知縣生れ、昭和四十四年七月十一日歿（八九一―一九六九）。舊姓中川。大正九年東京高等師範學校卒。歐米留學後、法政大學・東京女子高等師範學校各教授を経て、昭和二十五年お茶の水女子大學教授。この間の十
四年『石門の學史の研究』（昭和十二年五月）二十日岩波書店（公お）帝國學士虎寶恩賜賞受賞。日本教育史、特に石門の學研究の第一人者。著書『往來物落徳集（上巻）』（昭和二年五月）二十五文修堂書店）、

『日本近世教育史』（昭和六年十月十日中文館書店「教育倫理講座」）、『鳩翁道話』（校訂、昭和十年一月五日岩波書店「岩波文庫」）、『心學精粹』（文部省思想局編、昭和十年十月十五日日本文化協會出版部

『日本精神叢書』（『校訂』『心翁道話』（昭和十年十一月十五日岩波書店「岩波文庫」）、『松翁道話』（校訂、昭和十一年一月十日岩波書店「岩波文庫」）、『放送講話心づらひ硯』（昭和十一年十月）二十日文

教書院）、貞原益軒著『大和俗訓』（校訂、昭和十二年九月十五日岩波書店「岩波文庫」）、『堵菴と道』（『小杉巖共著、昭和十六年一

月）二十五日藻岩書店）、『心宮尊徳交話』（昭和十六年八月）二十日日本放送出版協會「ラジオ新書」）、『心學と現代生活』（昭和十七年

二月）二十五日日本放送出版協會「ラジオ新書」）、『石田梅巖』（昭和十八年四月十日文教書院「日本教育先哲叢書」）、『心學道話精粹』（

編、昭和二十二年十月）日大日本雄辯會講談社）、『古往來のつひ



この研究―その資料の一端』（昭和二十五年四月）二十日大日本雄辯會講談社）、『教育學と教育史學―乙竹岩造博士遺著紀念論文集』（合著、乙竹岩造先

牛島善壽祝賀會編、昭和二十七年十一月（日東洋館出版社）、『語彙集
型往來物ぶつこく』（昭和二十八年八月十日野間教育研究所「野間教
育研究所紀要」）、貝原益軒著『養生訓・和俗童子訓』（校訂、昭和
二十六年一月五日岩波書店「岩波文庫」）、『往來物ぶつこく』（昭
和二十七年七月五日大東急記念文庫「文化講座シリーズ」）、『石田
梅岩』、『都鄙問答』（昭和四十二年六月）、『石田岩波書店「岩波新
書」』等。

